

熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想県指定校事業

指定校種 (イノベーション) ハイスクール	学校名 熊本県立済々黉高等学校
--------------------------	--------------------

1 事業主題

国際的素養を備え世界をリードする済々多士の育成

2 事業概要

- ①国際感覚を磨く
- ②課題設定・解決力を身に付ける
- ③コミュニケーション能力を高める
- ④批判的思考力と創造力の向上を図る

上記①～④を達成するために、以下の2つの事業に取り組む。

- A 課題研究を中心とした総合的な探究の時間 (1～3学年)
- B 各種研修

3 事業内容 (ここを詳しく記載し、写真を添付)

(1) 1年生 総合的な探究の時間 テーマ: 「問い」を立てる (様々な課題に気付く)。

①様々な分野の専門家と生徒の実行委員がパネルディスカッション。

→様々な社会課題への関心を高める。人と話すことによって理解が深まることを学ぶ。



国際的に活動されている写真家、はちどりPHOTOのたかきあゆみさんとのパネルディスカッション



熊本の街並みづくりのコーディネーターとして活動されているDesign labo kurokoの和泉秀さんとのパネルディスカッション

熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想県指定校事業

②新書報告会。生徒が自分の興味のある新書を選び、章ごとの要約と批判的考察をまとめる。
→多くの新書を流し読みし、読みたいと思える本を探す。一冊読み終える経験をする。ただ読むのではなく、批判的な思考力を働かせて読む。参考文献など次の読書につなげる。

③夏期英語研修。熊本大学の留学生と2日間英語研修。研究テーマについてポスター発表。
→英語の運用能力を高める。国際的な課題や文化の違いに気付く。



研究テーマについて情報交換している様子



ポスター発表に向けたレクチャー

※留学生から自国の文化の紹介をしてもらったり、熊本大学の校舎を生徒と一緒に廻ってもらったり、国際交流の時間も多くあった。この経験を通じて、さらに海外への興味が高まった生徒向けには、来年度の夏休みにベトナムとオーストラリアでの海外研修を企画している。50名の生徒が説明会に参加するなど、国際的な視野の広がりがみられた。

④企業研修。熊本にある15の企業に協力いただき、職場体験を行う。
→勤労観の育成に加え、社会課題の解決に企業がどのように貢献しているかを知る。



JR九州での実習の様子



RKKでの実習の様子

⑤近隣の子飼商店街と連携し、商店街の活性化について研究。グループごとにプレゼン。
→身近にある地域課題を知る。2年次の課題研究に向けて、課題の設定、フィールドワーク、アンケートやデータの活用、プレゼンの手法などを学ぶ。



組合の理事長さんへのインタビュー



個店の事業主の方へのインタビュー

熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想県指定校事業

(2) 2年生 総合的な探究の時間 テーマ：課題研究を通じて、大学の研究を意識する。

①職員ゼミの活動。

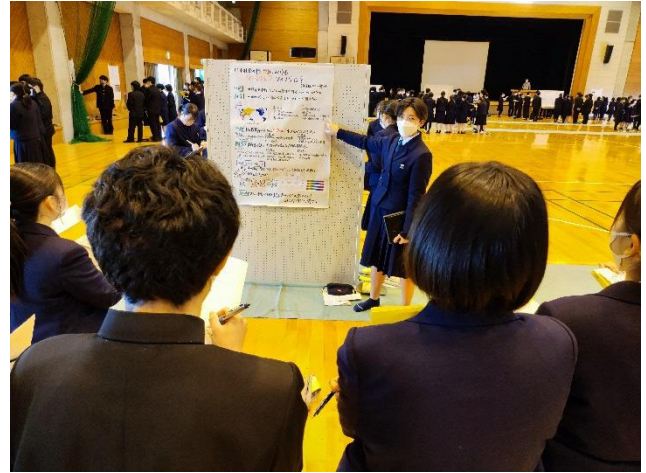
→学問・分野に応じて15のゼミ（1ゼミ20名程度）を作り、各自が課題研究に取り組む。
行政や企業、各種専門機関、同窓会などと連携し、広く深い学びを提供する。

②成果発表会。

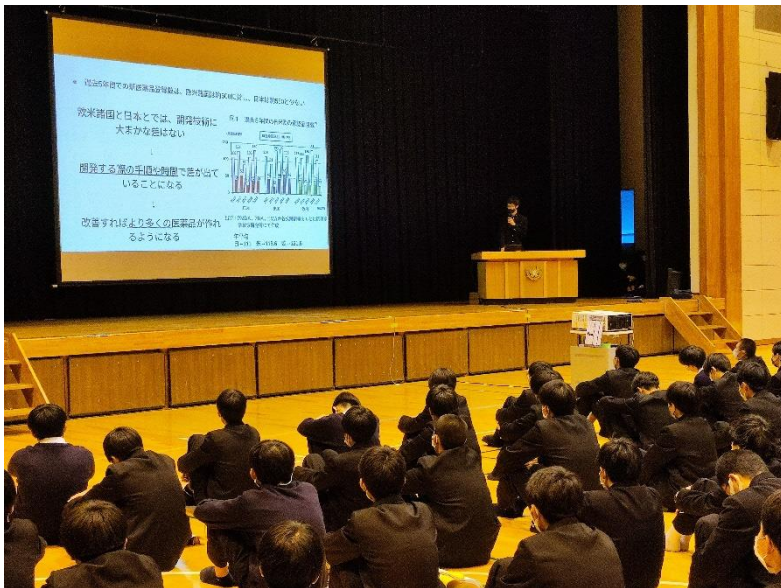
→12月に全生徒でポスター発表を行う。



体育館でのポスター発表①



体育館でのポスター発表②



代表者による全体プレゼン



ポスター例

③外部の報告会への参加。

→国際シンポジウム、京都大学主催のポスターセッションなど、希望生徒が積極的に参加。

④論文の作成。

→1年間の課題研究の成果を論文にまとめる。大学の進路希望や学問分野と結びつける。

(3) 3年生 総合的な探究の時間

①学問分野ごとに小論文学習。

→大学入試の小論文問題を題材に、調べ学習や議論を通じて主張やその根拠を考える。論理的な文章表現の技術を学ぶ。